

## うつくしい日本の風習

日常をもっと心豊かに

### お月見

お月見は、欠けては満ちる月の姿から、農作物の収穫や物事の結実を感謝する日となりました。お供え物にもひとつひとつ意味があります。今回は、日本人が大切にしてきたお月見の意味をご紹介します。



### お月見団子

月と同じ丸い団子をお供えし、それを食べることで、健康と幸せが得られると考えられています。十五夜では、十五にちなんで一寸五分（約4・5センチ）の大きな団子を十五個お供えします。また、一年の満月の数と同じ十二個であったり、十五を簡略して五個にする場合もあります。

### すすき

すすきは月の神様の依り代わりといわれています。またすすきの鋭い切り口は魔除けになるとも考えられました。そのため、お月見のすすきには悪霊や災害などから収穫物を守り、翌年の方策を願う意味が込められています。

### 収穫した野菜や果物

芋類の収穫を祝う行事でもあるため、里芋やさつまいもをお供えします。さらに、旬の野菜や果物を供え、収穫に感謝をします。特に、葡萄のようなツルものを備えると、お月さまのつながりが強くなると言われています。

## わが家でできる風水害対策

風水害による被害を最小限に食い止めるには、事前の備えが大切です。わが家でできる対策を確認しておきましょう。



～台風や集中豪雨がくる前に～



### ●屋内での備え●

- \* 非常持ち出し品の準備をしておこう
- \* 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオの準備をしておこう
- \* 断水に備えて飲料水を確保しておこう
- \* 浴槽に水を張るなどして、生活用水を確保しておこう
- \* 浸水などのおそれのある場所では、食品・衣類・寝具などを高い場所へ移動しておこう
- \* いざという時に避難する場所を確認しておこう

### ●塀や庭などの備え●

- \* ブロック塀にひび割れや破損がないか点検しよう
- \* 側溝や排水口のゴミや木の葉などを取り除き、水はけをよくしておこう
- \* 庭木に支柱を立てたりして補強しておこう
- \* 庭の物干し竿や自転車など、風で飛ばされそうなものを室内へ入れよう
- \* 住んでいる土地の特徴を把握しておこう（くぼ地か、危険ながけはないかなど）
- \* 崩れそうながけがあれば、ビニールシートなどで覆い、雨の浸透を防止しておこう



## 台風などが近づいた時の心得

- テレビやラジオなどから最新の情報を入手し、台風情報を注意深く聞こう
- 雨で増水した川やがけの下など、危険な箇所へ近づかないようにしよう
- 病人、乳幼児、高齢者、障害者などの人々を早めに安全な場所へ移動させよう
- 造成地、扇状地、急傾斜地、海岸地帯、河川敷などの危険な土地では早めの避難を心がけよう

## 今年のお月見は？

一般的には旧暦の8月15日の「十五夜」の日に行います。今年のお月見は、10月4日水曜日です。また、11月1日水曜日の「十三夜」の月も十五夜について美しい月とされています。